

大豆管理情報 第2号

培土

培土作業は、大豆の生育状況を確認の上、ほ場が乾いている時に遅れずに開始しましょう!!

[培土作業時の留意点]

- ほ場が乾いている時に作業を行いましょう。
- 株元までしっかりと土をかけましょう。

(表 1、図 1 参照)

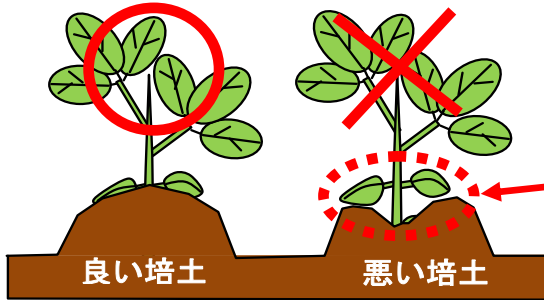


図 1 培土における株元への土寄せ

表 1 培土の時期と高さ

	時期	高さ
1回目	本葉2~3葉期 (播種後20~25日頃)	子葉が埋まる程度
2回目	本葉4~5葉期 (播種後30~35日頃)	初生葉が埋まる程度

◆株元に凹みのあるM字型培土は・・・ダメ!
 ・株元に水がたまり、湿害や病害の原因となる
 ・新根が伸びず、生育不良となる
 ・株間に発生する雑草を抑制できない
 ・倒伏しやすく、コンバイン収穫が困難となる

培土の効果

- ①排水促進、②根域拡大、③雑草抑制、④通気性向上、⑤倒伏防止

排水対策

- 培土でできた溝は、額縁排水溝や排水口に確実に連結しましょう。
- ※溝での停滞水は、根腐れ・生育停滞の原因に!



難防除雑草対策

～帰化アサガオ類の除草対策～

ほ場内に侵入すると繁茂し収穫作業への支障や作物の倒伏につながります。発生が見られた場合は速やかに除去しましょう。

[帰化アサガオ類の防除体系]

除草剤名	散布時期	留意点等
大豆バサゲラン液剤	大豆 2 葉期～開花期 (播種後 20 日頃)	○液剤 (<u>全面茎葉散布処理</u>) ・大豆 2 葉期確認後、速やかに散布 ・帰化アサガオ類 6 葉期(つるになり始める頃)までに散布
バスタ液剤	大豆 5 葉期～ (7 月中を目処に散布)	○液剤 (<u>畦間・株間処理</u>) ・ <u>大豆の本葉にかからないよう散布</u> ・帰化アサガオ類全体にかかるよう株元までしっかり散布(つり下げノズルが必要) ・処理後に帰化アサガオ類が発生した場合、使用基準の範囲内(3 回以内)で防除を繰り返す。
手取り除草	成熟期まで	・開花中又は結実していた場合、抜き取った株をほ場内に放置せず、ほ場外で適切に処分(ほ場に種子を残さない、用水に流さない)

見つけたら、抜き取るか除草剤を散布しましょう!



マルバルコウ(幼植物)